

# 動物用ワクチンの将来像

～ 戦略策定と産学官プラットフォームの立ち上げ ～

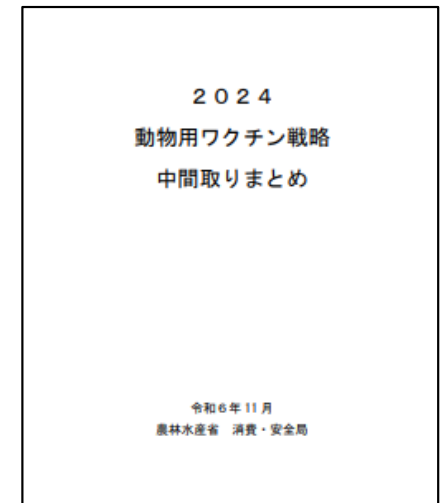
令和7年3月18日（火）

農林水産省消費・安全局  
畜水産安全管理課  
星野 和久

# 2024年

## 動物用ワクチンの生産基盤確保 「動物用ワクチン戦略」を策定

関係者の皆さんにご理解・ご協力をお願い



策定部署：農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課

主な所管事項：

**薬機法**に基づく動物用医薬品の承認審査等の規制

# 本日はお話しすること

1. 動物用ワクチン戦略策定のきっかけ
2. 動物用ワクチン戦略の内容と狙い

# 産業動物用ワクチンの状況

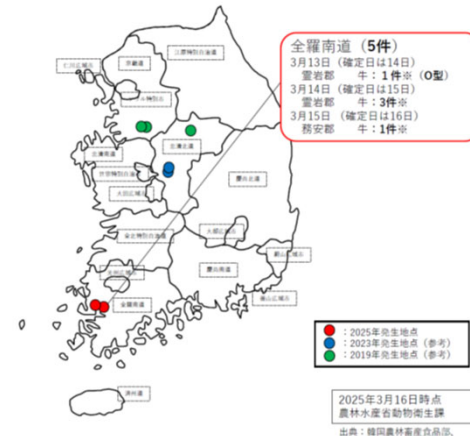
## 畜産現場におけるワクチンのニーズ増大

- ✓ 疾病の発生予防・まん延防止**対策に不可欠**
- ✓ **薬剤耐性菌対策**では**事前対応型の防疫にシフト**
- ✓ 海外から**重大疾病の侵入リスク増大**  
アジア・欧州地域で口蹄疫、アフリカ豚熱、ランピースキン病など流行

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年3月以降）



【アフリカ豚熱の発生状況】



【韓国における口蹄疫の発生状況】

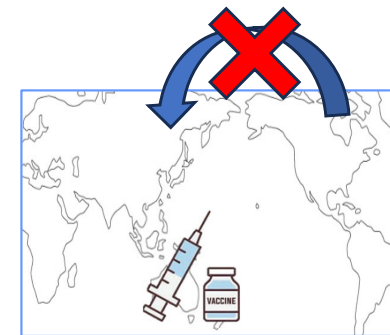
# 国内の事情

必要なワクチンがいつでも使える状態ではない

✓ 必要なワクチンが**未開発**



✓ 海外で使用可能でも**国内で使用困難**



✓ 大流行時に急な**増産が困難**



# 変化する社会情勢への対応

農水省は食と環境を守り未来に届けることが使命

- ✓不安定な**国際情勢**
- ✓温暖化による**気候変動・自然災害**
- ✓物・人流広域化による**感染拡大の高速化**

## 農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、

生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を  
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、

常に国民の期待を正面から受け止め

時代の変化を見通して政策を提案し、

その実現に向けて全力で行動します。

# 食料・農業・農村基本法の見直し

## 家畜の伝染性疾病の発生予防・まん延防止を新設

- ✓ 基本理念は**食料安全保障**
- ✓ 良質な食料を国民一人一人が**入手可能な状態**
- ✓ 家畜疾病の**防疫措置を四半世紀ぶりに規定**

### 改正食料・農業・農村基本法（令和6年6月）（抜粋）

第41条 国は、家畜の伝染性疾病及び植物に有害な動植物が国内で発生及びまん延をした場合には、農業に著しい損害を生ずるおそれがあることに鑑み、その発生の予防及びまん延の防止のために必要な施策を講ずるものとする

# 食料供給困難事態対策法の制定

## 畜水産物の安定供給に必要な生産資材に指定

- ✓ 食料供給が困難となる**事態を未然に防止・深刻化の防止**
- ✓ 対象生産資材は**平時から供給状況を把握**
- ✓ 不足事態となれば**政府が必要な措置**

### 対象となる特定食料・特定資材

農林水産物：米、小麦、生乳、牛肉・豚肉・鶏肉、鶏卵など

加工品：小麦粉、飲用牛乳・乳製品、液卵・粉卵など

生産資材：肥料、農薬、種苗、飼料、**動物用医薬品**

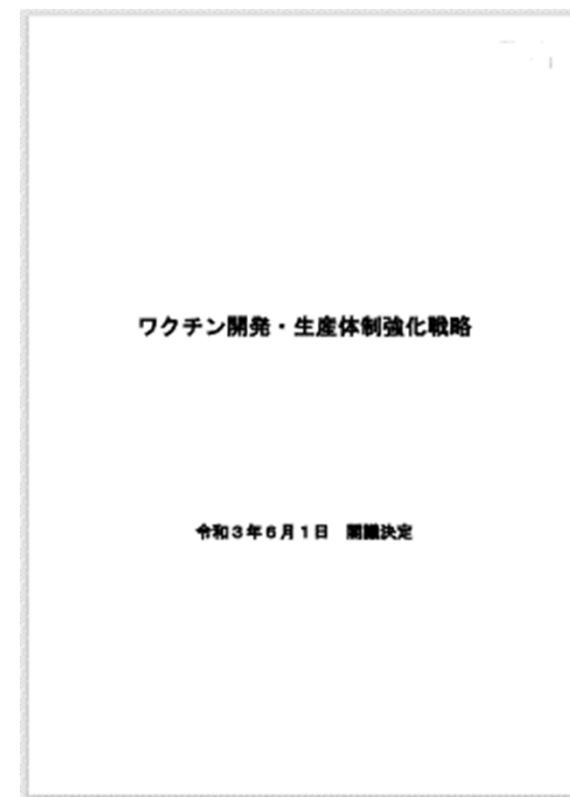
# ヒト用ワクチンにおける対応

## ヒト用ワクチンの戦略を閣議決定

- ✓ 新型コロナウイルス感染症ワクチンを**迅速に開発・供給できなかった反省**



- ✓ 政府の**体制を再構築**
- ✓ 長期的に取り組む**国家戦略を令和3年6月に取りまとめ**



ワクチン開発・生産体制強化戦略

# 国の政策

## 動物用ワクチンを戦略的に推進する政策が必要

畜産現場ではワクチンのニーズがますます増大

- ✓ 必要なワクチンがいつでも使える状態ではない
- ✓ 基本法や事態法では**重要な生産資材**
- ✓ ヒト用ワクチンは**国家戦略を策定**

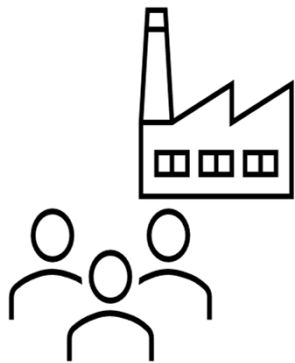
食料安全保障を支える

**動物用ワクチンの生産基盤をメーカーの経営判断や市場競争に任せっきりでいいのか？**

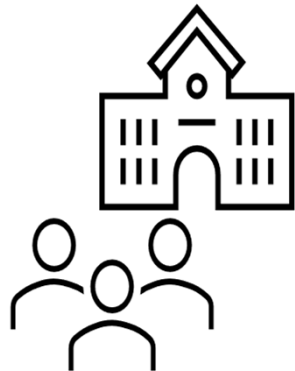
# 動物用ワクチン戦略

## 動物用ワクチン戦略策定のための 検討会の立ち上げ

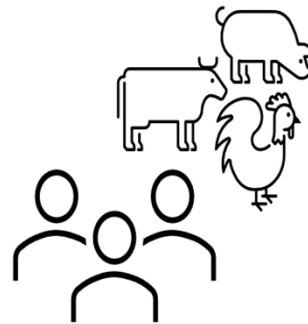
- ✓ ワクチンの開発・生産基盤の**国内の動きを活性化**
- ✓ 何ができるか**ステークホルダーと議論**



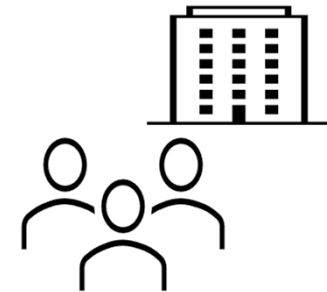
国内ワクチン  
メーカー  
関係団体



研究機関



産業動物  
臨床獣医師



国

# 本日はお話しすること

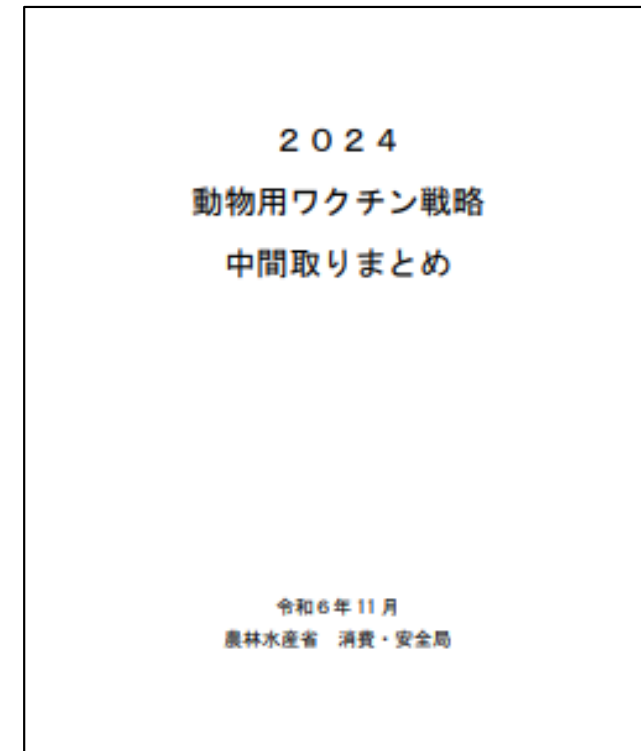
1. 動物用ワクチン戦略策定のきっかけ
2. 動物用ワクチン戦略の内容と狙い

# 動物用ワクチン戦略の策定

動物用医薬品関係団体、国内ワクチンメーカー、臨床獣医師、研究機関、農林水産省で議論



ワクチン戦略検討会（R6.6月より4回議論）



動物用ワクチン戦略（中間とりまとめ）  
R6.11月公表

# 動物用ワクチン戦略の構成

## 目次

|          |  |    |
|----------|--|----|
| <b>1</b> | <b>はじめに</b> .....                        | 3  |
|          | (1) 動物用ワクチンを取り巻く状況.....                  | 3  |
|          | (2) 本戦略を策定する背景.....                      | 4  |
| <b>2</b> | <b>現状と課題</b> .....                       | 5  |
|          | (1) 製造・販売状況.....                         | 5  |
|          | (2) 開発・承認状況.....                         | 6  |
|          | (3) 輸入状況.....                            | 8  |
|          | (4) 輸出状況.....                            | 8  |
| <b>3</b> | <b>目指すべき将来像</b> .....                    | 9  |
| <b>4</b> | <b>将来に向けた短・中長期的な目標及びその実現のための取組</b> ..... | 10 |
|          | (1) 戦略的な開発・実用化、最新技術の導入.....              | 10 |
|          | (2) 製造体制の強化・技術の蓄積.....                   | 11 |
|          | (3) 販売体制の強化.....                         | 12 |
| <b>5</b> | <b>最後に</b> .....                         | 13 |

# 戦略の概要 現状と課題

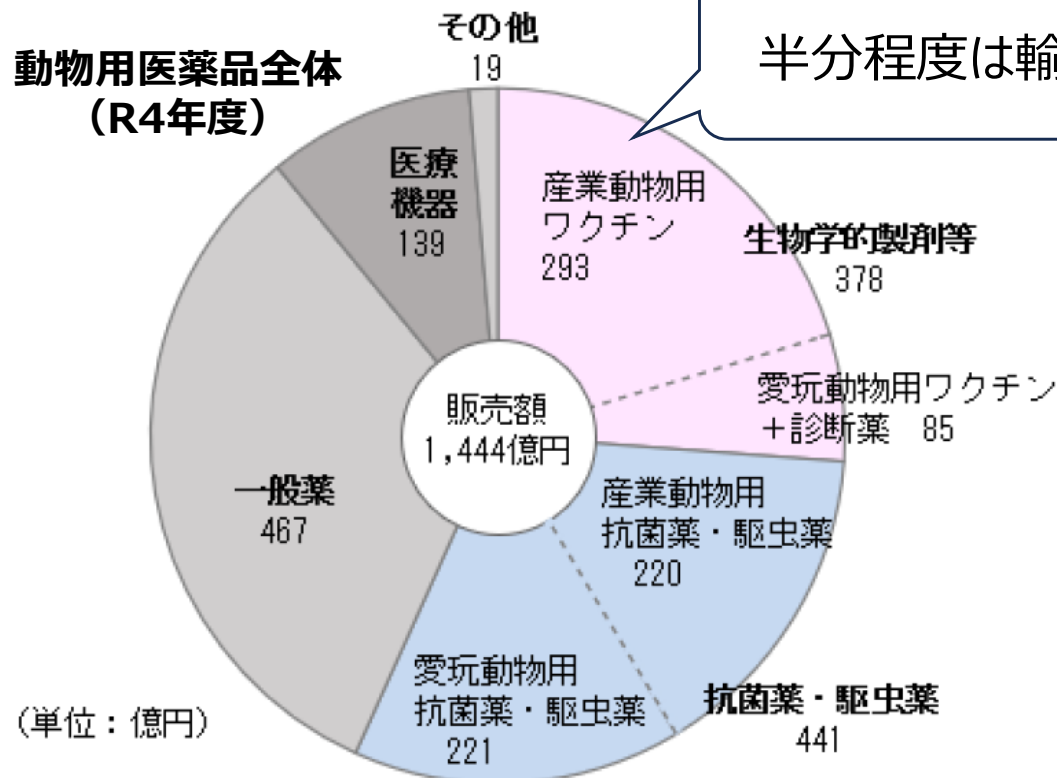
## 日本の動物用医薬品業界の概要

➤ 国内の動物用医薬品販売高  
約**1,444億円**（R4年度）

世界の動物用医薬品市場の約 1 / 40  
国内の**人用医薬品**の販売高の約 1 / 60

➤ 国内の**畜産**の産出額 **3兆7千億円**（令和5年度）

## 産業動物用ワクチン販売高



## ウィークポイント (課題)

- 開発の国際競争力
  - 専門家、業界間の連携
  - 不採算品目への対応
  - 設備投資の意欲
- など

## ワクチンの安定供給により食料安全保障に貢献

- ✓ 動物用ワクチンの**迅速な開発体制**
- ✓ 安定的な**製造・供給体制**を持続的に実現
- ✓ **再興感染症**の技術の**蓄積**
- ✓ アジア諸国も含めて**疾病のまん延リスクの減少**
- ✓ 畜水産業の**経済損失が減少**



**畜水産物生産の持続可能性が強化**

## 生産基盤の仕組みごとにタスクを設定

開発 新規ワクチンの**開発・実用化**



製造 ワクチン**製造体制**の強化



販売 国内外に向けた**供給体制**の強化

## メーカーと研究機関が連携して開発する体制の構築

**開発**      新規ワクチンの**開発・実用化**



- ・産学官連携による**共同開発の機会創出**
- ・新技術に対応した**承認審査の整備**
- ・薬事関連**規制の最適化**

製造



販売

## 必要量のワクチンを安定的に供給できるための 製造能力向上

開発



製造



ワクチン**製造体制**の強化

・アフリカ豚熱ワクチンなど**重要ワクチンの早期製造**

・ワクチンの**生産や供給技術の維持**

・緊急時に**増産体制強化**

販売

## ワクチンをいつでも現場に供給できる体制の構築

開発



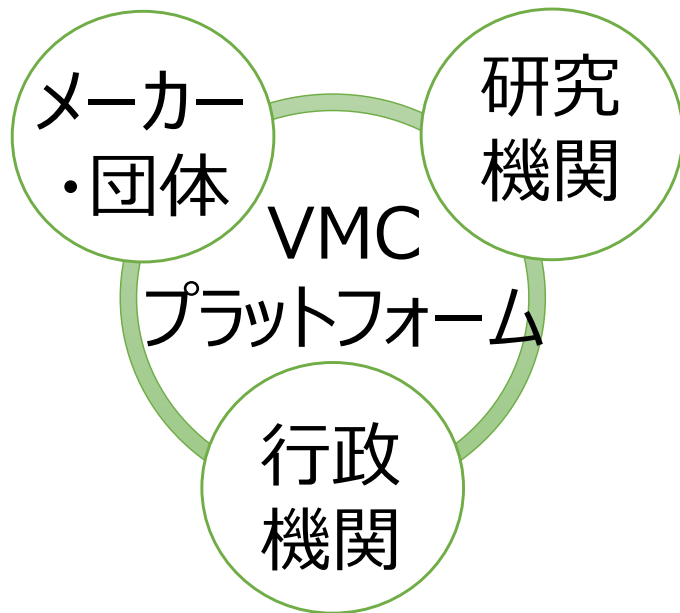
製造



**販売** 国内外に向けた**供給体制**の強化

- ・**輸出促進**に向けたプロモーション強化
- ・**相手国の承認制度**の対応
- ・現場への**ワクチン接種の推進**

## 産学官の連携を促進するための プラットフォームの立ち上げ



### 動物用医薬品産学官連携 (VMC)プラットフォーム

Veterinary Medicine Industry-Academia-Government  
Collaboration Platform

- ・行政による**研究開発支援**の事業
- ・研究機関による**新たな知見や実用化**の目途
- ・生産現場における**ニーズの掘り起こし**
- ・メーカーにおける**課題や新たなアイデア**の提供など

活動を活発化し考える集団に発展することを期待

## テーマ別の活動（案）

- ✓ 戦略的な開発・実用化・最新技術の導入
- ✓ 製造体制の強化・技術の蓄積
- ✓ 販売体制の強化



VMCプラットフォームの場で**情報発信・共有**

## 2024年

- 戦略の策定
- VMCプラットフォームの立上げ

## 2030年

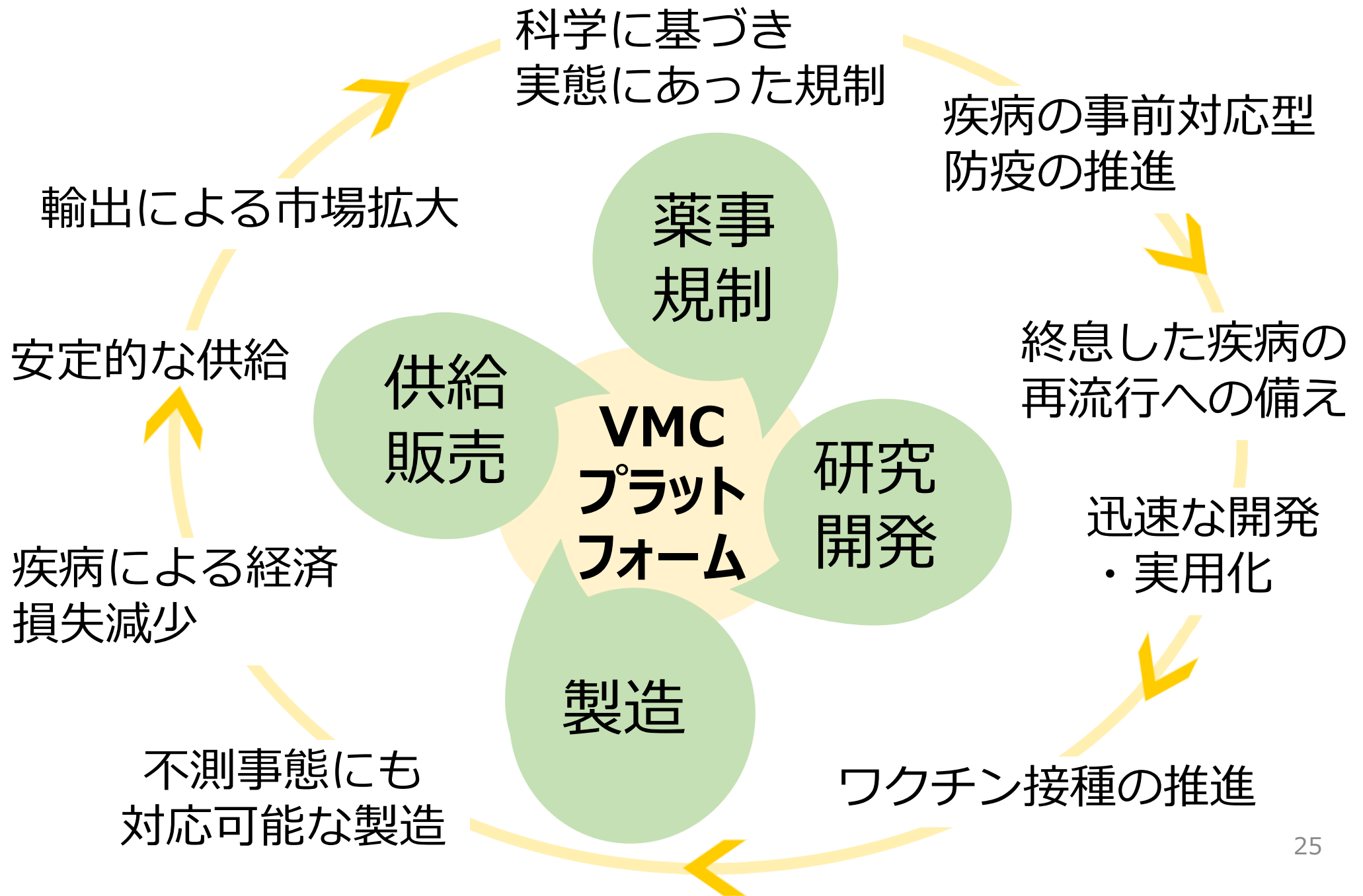
- 産学官が連携した開発・製造体制
- アフリカ豚熱ワクチンなど国家防疫上重要なワクチンの開発・実用化
- 新技術を用いた製品を適切に評価するためのガイドライン作成

## 2050年

- ワクチンの安定供給体制の強化
- 創薬力の強化
- ワクチン輸出の拡大

**動物用ワクチン戦略でなにが変わるか？**

# 動物用ワクチン生産基盤の好循環が期待



# 本日の内容

## 1 動物用ワクチン戦略策定のきっかけ

畜産現場ではワクチンのニーズがますます増大

- 必要なワクチンがいつでも使える状態ではない
- 基本法や事態法では重要な生産資材
- ヒト用ワクチンは国家戦略を策定

## 2 動物用ワクチン戦略の内容と狙い

- 新規ワクチンの開発体制を強化
- 安定的な製造・供給体制を持続的に実現
- 再興感染症の技術の蓄積
- アジア諸国も含めて疾病のまん延リスクの減少



**ワクチンの安定供給が食料安全保障に貢献**

ご清聴ありがとうございました

これからもHPやWebで  
情報発信・共有していきます

農林水産省消費・安全局  
畜水産安全管理課  
星野 和久